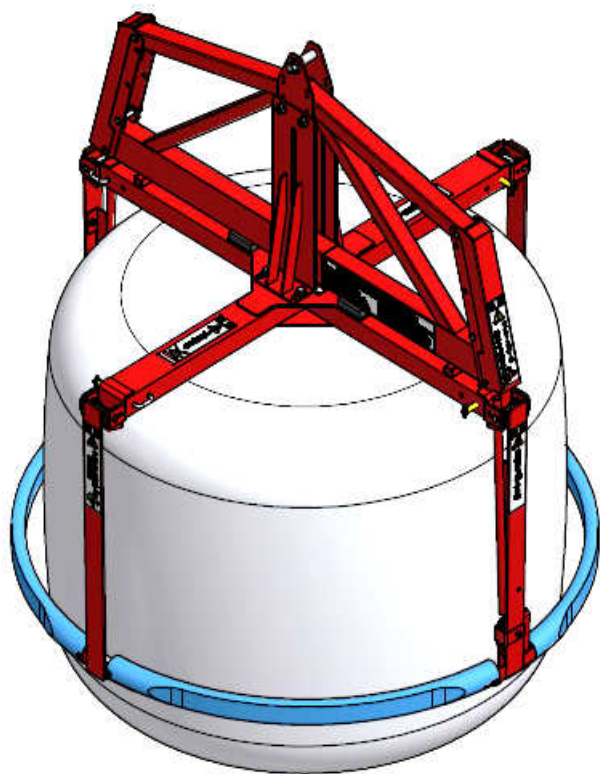


ロールキャッチャー® RC-1188

取扱説明書

特許登録No.5954673

商標登録No.5902937



ご使用前に必ずお読み下さい。
いつまでも大切に保管して下さい。
「ロールキャッチャー®」は登録商標です。

はじめに

この度は 啓文社製作所製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

この取扱説明書は 本製品の正しい取扱い方法、簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読み頂いて動作原理を良く理解し安全で快適な作業を行ってください。また、お読みになった後も近くに保管して、解らない事があった時は取出してお読み下さい。尚、品質向上あるいは安全上、外観及び使用部品の変更を行うことがありますのであらかじめご了承下さい。

この製品を貸与、又は譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。




この取扱説明書を紛失、又は損傷された場合は速やかに当社、又は販売店に注文下さい。

ご不明な事や、お気付きの事がありましたら販売店にご相談下さい。

安全第一

■ 注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について、次のように表示します。

	危険	: 注意事項を守らないと、死亡又は重傷を負うことになるものを示します。
	警告	: 注意事項を守らないと、死亡又は重傷を負う可能性があるものを示します。
	注意	: 注意事項を守らないと、ケガを負うおそれのあるものを示します。
	重要	: 注意事項を守らないと、機械の損傷や故障の恐れのあるものを示します。
	補足	: その他、使用上役立つ補足説明を示します。

本製品の使用目的について

WCS稲等の畜産飼料に使うロールベールの積降作業に使用する装置です。使用目的以外の作業や改造は行わないで下さい。

使用目的以外の作業や改造した場合は保証の対象になりませんので注意ください。

(詳細は保証書でご覧ください)

目次

	ページ
1. 安全に作業するために	1
〈製品貼付ラベル一覧〉	3
2. サービスと保証について	4
3. 仕様	5
4. 梱包内容と各部名称	6
5. 組立要領	7
〈組立に必要な工具〉	7
〈組立手順〉	7
6. 取扱要領(使用方法)	13
〈作業者及び作業環境〉	13
〈作業方法〉	13
〈ワイヤー長さ調整方法〉	15
〈運搬形態〉	16
7. メンテナンス	17
〈作業後の手入れ〉	17
〈グリス注入箇所一覧〉	17
〈定期点検〉	18
〈保管〉	19
〈交換部品〉	20
8. 困ったときは	23
9. 部品表	24

1. 安全に作業するために

本製品をご使用になる前に 必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で安全な作業をして下さい。

安全に作業して頂く為に、是非守って頂きたい注意事項は次の通りです。

本文中にも.....

 **危険**

 **警告**

 **注意**

重要

補足

としてその都度、新たな点、重複点について示しています。

安全に作業する為に、次の事柄を守って下さい。

 **危険** 注意事項を守らないと死亡又は重症を負うことになります。

- 吊荷や吊具の下には入らないで下さい。作業員以外の人も入ってはいけません。
守らないと下敷きになって死亡する危険があります。
- 吊上げ作業時には吊荷をゆすらないで下さい。
ぶつかったり、落下して重傷を負うことになります。
- ワイヤーをフックに掛けている所を覆う「ワイヤー取付カバー」を外したまま作業をしないで下さい。
カバーを固定する蝶ボルトは必ず締め付けて下さい。蝶ボルトを締め忘れると作業中ワイヤーがフックからはずれて吊荷が落ちて重症を負うことになります。
- 作業中は本体の上に乗ったり手を置いたりしないで下さい。
装置の動作で巻き込まれたり、挟まれたりして重傷を負うことになります。

 **警告** 注意事項を守らないと死亡又は重症を負う危険性があります。

- WCS等の吊荷は450kgを超えたものや直径がΦ880～1100mm以外のものは使わないで下さい。
装置の変形や落下の危険があります。
- 作業中はワイヤー、アームと吊荷の間、上架台と下架台の間に手などを入れないで下さい。
- 作業中は製品中央の可動部には触らないでください。手が挟まったり、工具類が中に入ったりして人体や装置が損傷することがあります。
- 雨、雷、強風などの天候の悪い時は屋外での作業はしないでください。作業性が悪いため人体の損傷や感電死することがあります。
- 製品を改造して使用しないでください。安全性を損なったり機能や寿命低下の原因になります。作業中の破損などで重傷を負うことがあります。

 **注意** 注意事項を守らないと怪我を負うおそれがあります。

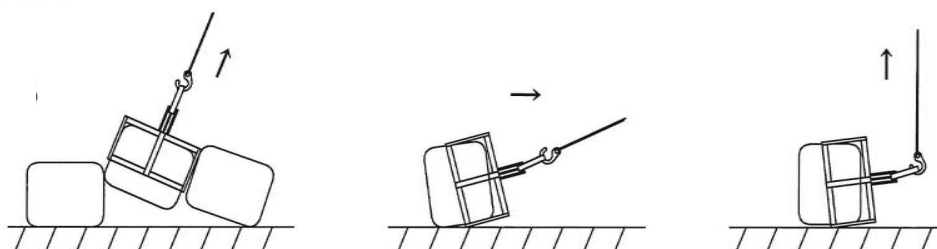
- 本書及び製品の危険ラベル・警告ラベル・注意ラベルをよく読み理解して下さい。ラベルはいつもきれいにし破損・紛失した場合は注文して再度貼り付けて下さい。〈製品貼付ラベル一覧〉参照。
- 本書の取り扱い方をよく理解して正しい運転・作業方法を覚えて下さい。
- 作業員は必ずクレーン・玉掛け等の作業免許を持った人が行って下さい。免許所持者以外の人

が作業した場合の怪我には責任を負いません。

- 運転操作には的確な判断が必要なため、飲酒をした人、過労・睡眠不足の人、病気などで体調不良の人は使用しないで下さい。
- 作業する人以外は製品に近づけないで下さい。製品や吊荷にぶつかったり挟まれたりすることがあります。
- 万が一の製品及び吊荷の落下に備えて作業者が退避するスペースを必ず確保して下さい。
- この製品は重量物を吊ってクレーン等で垂直に上下させて使用するものです。斜め吊り、横引き、ロール起こし、急激な上げ下げはお止め下さい。守らないと装置が変形し作動不能になります。
- 損傷等異常が認められる製品は使用しないで下さい。また、作業中破損や異常音が出た場合はただちに使用を中止して退避して下さい。その後吊荷を降ろした後、販売店へご連絡下さい。
- 作業者は作業着等作業に適した服装で行って下さい。だぶついた箇所や裾があると製品への巻き込み・引っ掛けでケガをすることがあります。
- 作業者はヘルメットを必ず着用して下さい。
- 製品を吊るクレーン等の吊り上げ機は安全で正常に動作するものをご使用下さい。(クレーンフックは3トン用まで対応。)正常な動作ができないと製品や吊荷の落下、製品の破損、作業者のケガにつながります。
- 製品を点検する時やグリス注入などメンテナンスを行う時は、吊荷を離して平地に置いて行って下さい。その際4本のアーム上にある自立用L形ボルトをロック側へ差し込んでアームの開閉を固定して下さい。
- トラック等での運送時は4本のアーム上にある自立用L形ボルトをロック側へ差し込んでアームを固定し、さらに本機も倒れないように固定してください。
- この製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社または販売店にご注文下さい。

注意 斜め吊り、横引き、ロール起こし等の無理な動作を行うと装置が変形して作動不能になります。

禁止 ×斜め吊り ×横引き ×ロール起こし



〈製品貼付ラベル一覧〉

注意ラベル

①諸注意ラベル 23864

安全に作業する為に次のことを守って使用して下さい。

作業者は『取扱説明書』を読み理解した上で操作して下さい。

<p>危険 吊具、吊荷の下には入らない事。</p> <p>危険 吊上げ時は吊荷をゆすらない事。</p> <p>危険 ワイヤーカーを 外れたまま作業しない事。</p> <p>危険 本体の上に乗ったり、手を置いたりしない事。</p> <p>警告 吊荷は450kg超えたものは使わない事。</p>	<p>警告 作業中、ワイヤー、アーム、本体と吊荷の間に手を入れない事。</p> <p>警告 作業中は本体中央の作動切替部は触らない事。</p> <p>警告 雨、雷、強風、雪などの天候が悪い時は作業しない事。</p> <p>注意 作業時はヘルメット、作業着など安全な服装で行う事。</p> <p>注意 作業はクレーン、玉掛け等の免許を持った人が行う事。</p> <p>注意 中央の作動切替部とアーム下ブーリ軸は定期的に給油の事。</p>
--	---

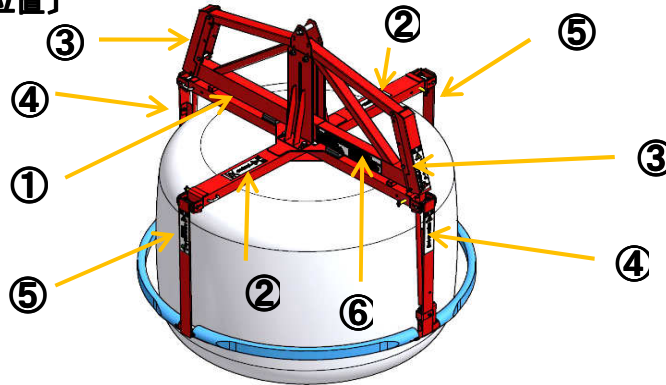
②上乗り注意ラベル ③ワイヤーカバー注意ラベル ④吊荷下注意ラベル ⑤ヘルメット注意ラベル

<p>23865</p> <p>危険</p> <p>上に乗るな</p>	<p>23866</p> <p>危険</p> <p>ワイヤーカバーの 緩ボルト締め忘れ確認</p>	<p>23867</p> <p>危険</p> <p>吊荷の下に入るな</p>	<p>23868</p> <p>注意</p> <p>ヘルメット着用して 安全操作</p>
--	--	---	---

⑥斜め吊り注意ラベル 24283

禁止 ×斜め吊り ×横引き ×ロール起こし

〔注意ラベル貼付位置〕



名称仕様その他ラベル

⑦名称仕様ラベル 23863

<h1 style="margin: 0;">KEIBUN</h1> <p style="margin: 0;">ローリングキャッチャー®</p> <p style="margin: 0;">株式会社 啓文社製作所</p>	RC仕様			
	吊荷サイズ	直径 φ880mm～φ1100mm(三段切替)		
	切替サイズ	サイズ1: φ1010～1100/サイズ2: φ950～1030/サイズ3: φ880～970		
	吊荷重量	450kg以下	型 式 名	RC-1188
	耐吊荷重	550kg	製 造 番 号	000001
本体重量	45kg	PAT.No.	5954673	

⑧ワイヤーフック位置ラベル 23869



⑨注油シール 14630

注 油

作業終了後、軸受部に注油してください。

2. サービスと保証について

この製品は保証書が添付してありますのでご使用前によくご覧下さい。

この製品の保証期間は購入後1年以内です。この取扱説明書にもとづいた正常な扱いをされた場合の動作不良、部品不良にのみ対応いたします。無理な使い方や仕様値以外の吊荷を扱った場合、製品の改造等をされた場合は保証の対象にはなりません。



警告

●製品の改造は危険ですので行わないでください。改造した場合や取扱説明書に記載した正しい使用目的と異なる使用の場合はメーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

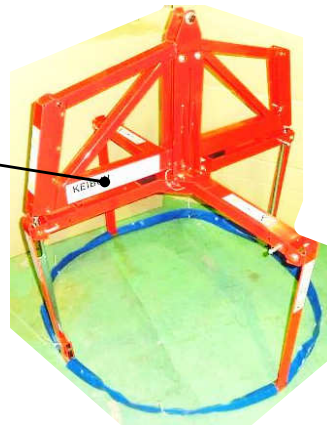
不具合が生じた場合は、保証書といっしょにお買い上げいただいた販売店にご相談下さい。その際、型式名と製造番号をご連絡下さい。

型式名、製造番号記載位置

名称仕様ラベル

KEIBUN ロールキャッチャー® 株式会社 啓文社製作所	RC仕様	
	本体サイズ	直径 φ800mm～φ1100mm(三層切替)
	吊掛サイズ	サイズ1 φ100～100サイズ2 φ100～100
	吊掛重量	50kg以下
	型式名	RC-1188
製造番号	000001	
本体重量	45kg	PA726 9954772

型式名	RC-1188
製造番号	※※※※※



補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期限)は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合があります。補修用部品の供給または供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

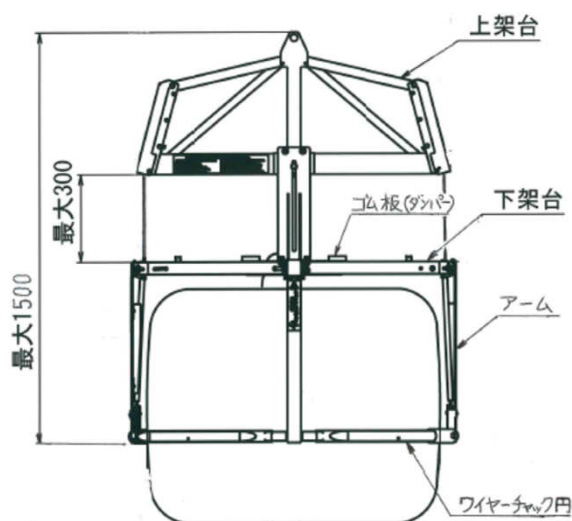
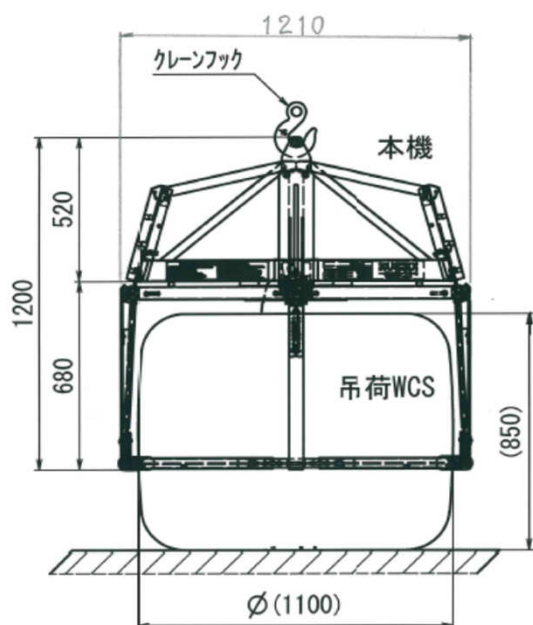
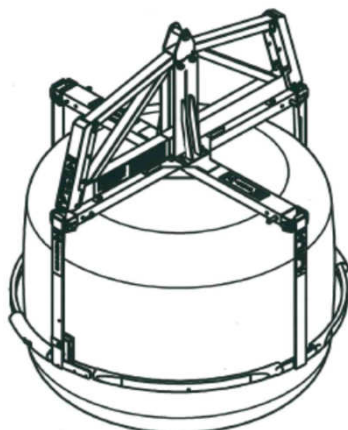
3. 仕 様

製品名	※1 ロールキャッチャー®
型式名	RC-1188
使用吊荷種類	WCS(ロールベール)のみ
吊荷(WCS)サイズ	φ880~1100mm
吊荷サイズ切替	ワイヤー長さ三段階切替方式(ワイヤー掛けフック位置 1, 2, 3)
フック位置 1	WCS サイズ1 φ1010~1100mm(重量約400kg)の場合
フック位置 2	WCS サイズ2 φ950~1030mm(重量約300kg)の場合
フック位置 3	WCS サイズ3 φ880~970mm(重量約250kg)の場合
吊荷重量	450kg以下
耐吊荷重	550kg
本機寸法	外径φ1210mm×高さ1200mm(吊上時最大高さ1500mm)
本機重量	45kg
取付可能フックサイズ*	3tフック迄対応

※1 「ロールキャッチャー®」は登録商標です。

⚠ 注意 トラック運送時は倒れないように固定してください。

外形図 (mm)

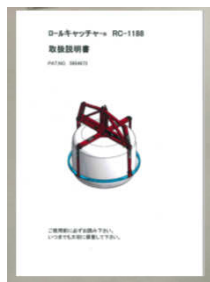


4.梱包内容と各部名称

○梱包箱



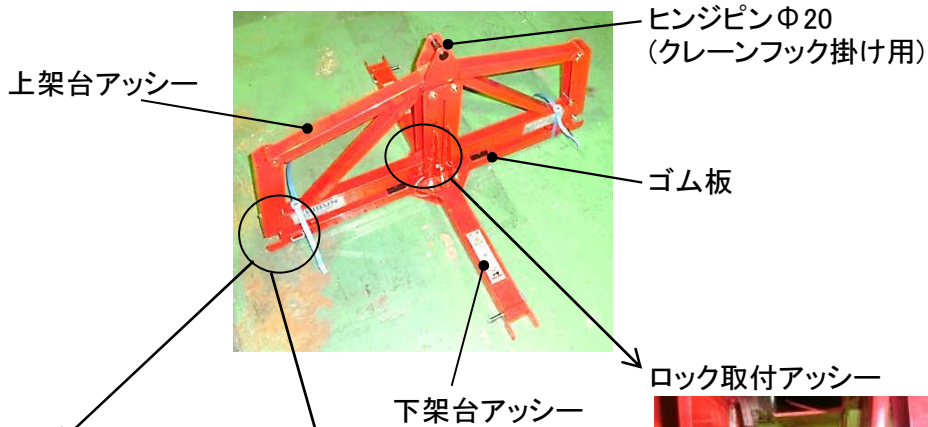
○取扱説明書…1部



○保証書…1部



○上部架台コンブ…1個



蝶ボルト

ワイヤー取付カバー



ワイヤーフック

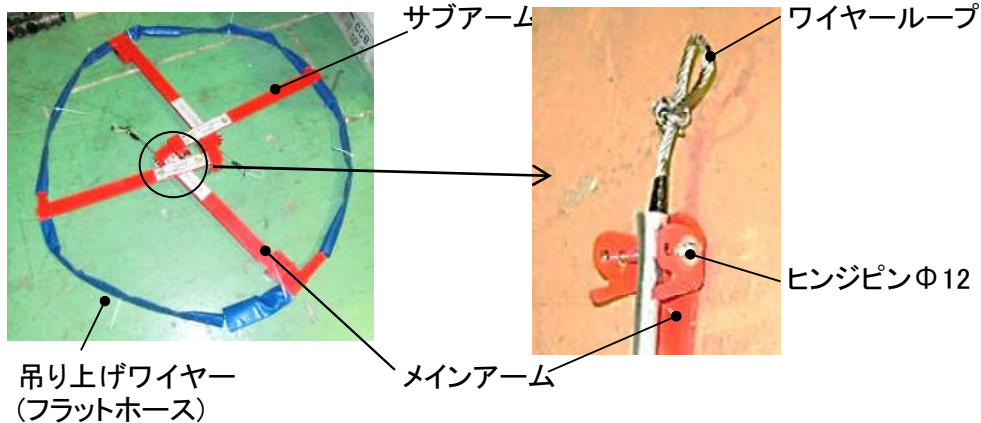
L形ボルト
(アームの固定用)



ロックカム

手動ロック解除バンド

○ワイヤー吊アッシー…1個



5.組立要領

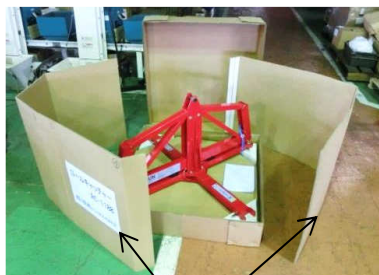
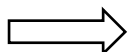
〈組立に必要な工具〉

先の細いラジオペンチなど …… 1個



〈組立手順〉

①箱から部品を取り出します。



※側面のダンボールスリーブ2枚は後で組み立てに使用します。

架台を取り出します。

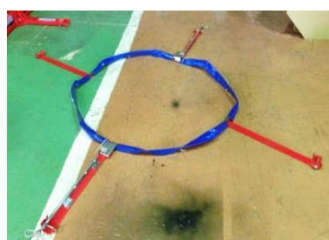
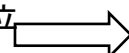


架台は30kg位あって重いので2人以上で持つかクレーンで吊って降ろしてください。

ワイヤー吊アッシーを取り出して地面に置きます。置く時に4本のアームを開いた状態で置いてください。



※ダンボール中パッドは後で組み立てに使用します。

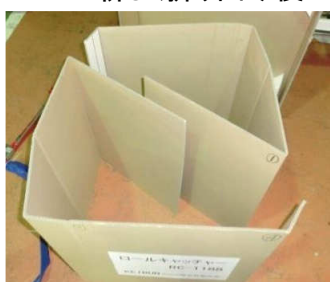
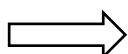


②組立用の台を作ります。

側面のダンボールスリーブ2枚を写真のように折り目に沿って折り曲げて合わせます。

初め

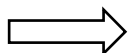
新しく折り曲げ後



伸ばす



端の両面テープのシールを剥がしてもう一つのダンボールスリーブの折り曲げた角に貼付けます。2枚を合わせてほぼ正方形にします。



貼付

貼付

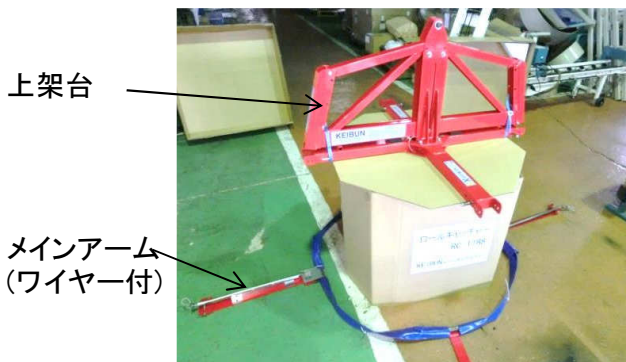
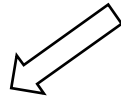
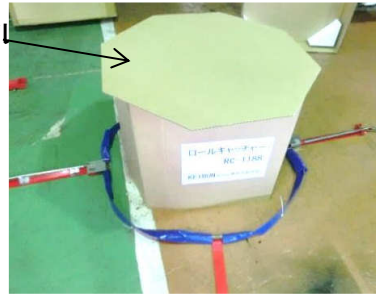
③組立用の台に架台を載せます。

ワイヤー吊アッシーの中に組立台を置きます。
そして、組立て台の上にダンボール中パッドを置きます。

補足 ダンボールスリーブでなく別な台を使う場合は、高さ630mm以上で架台の下に入り本機の重さ45kgに耐えるものを使用してください。



ダンボール
中パッド

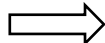


架台を組立台に載せます。
ワイヤー吊アッシーのアーム位置に
架台の十字を合わせます。この時
ワイヤーが付いたメインアーム側に
上架台の端を合わせます。

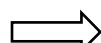
④ワイヤー吊アッシーを取付けます。

初めに上架台のワイヤー取付カバーを取り外します。

ワイヤー取付カバー



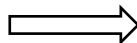
スナップピンを外します。



ヒンジピンを抜きます。



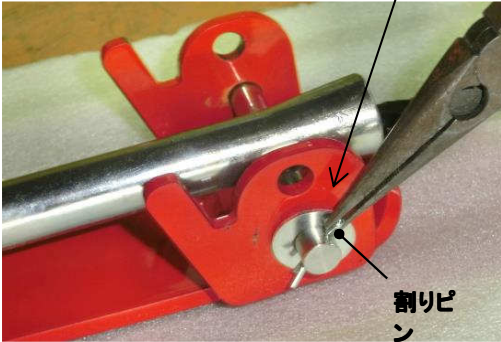
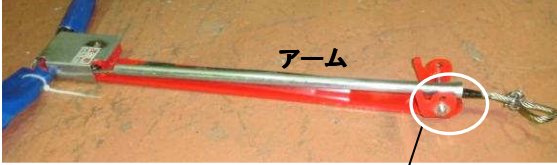
蝶ボルトを外します。



左右2箇所
外します。



次にアームの割ピンをペンチで抜き取ります。



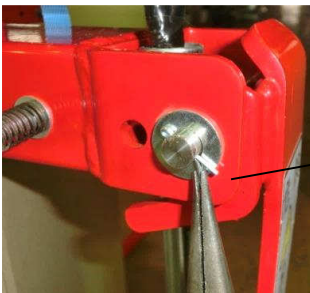
ヒンジピンと平座金を外します。



アームと下架台を合わせてヒンジピンを差し込みます。



平座金を取付けて割ピンを入れてペンチで折り曲げます。



ヒンジピンの円に沿って曲げます。



4箇所とも同様に取付ます。

⑤ワイヤーを掛けます。

ワイヤーフックにワイヤーループを掛けます。



通常は1の位置(標準)に架けます。
WCSのサイズが標準1より小さい場合は2、3の位置に掛けます。
この場合はワイヤーフックも位置を移動させます。

補足

「6. 取扱要領」〈ワイヤー長さ調整方法〉を参照ください。

ワイヤークリップが収まらないとワイヤー取付カバーが閉まらないので、左図のような向きに取付ます。

注意

ワイヤークリップは写真の向きに引っ掛けてください。逆向きだとワイヤー取付カバーが閉まりません。

ワイヤー取付カバーを取付けてヒンジピン、スナップピンで固定します。



ワイヤー取付カバー

スナップピンは中央まで確実に差します。



スナップピン

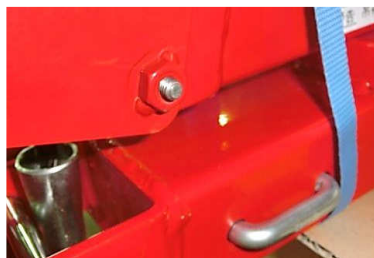
蝶ボルトを締め付けます。



蝶ボルト

注意

緩み防止に、反対側にネジが出てからきつく締め付けてください。



2箇所とも同様に行います。

危険

ワイヤー取付カバーを固定する蝶ボルトは確実に締め付けてください。締め忘れや締めつけが緩い場合に使用中ワイヤー取付カバーが開いてワイヤーが外れ、吊荷の落下で重傷を負うことになります。

⑥フラットホース及びアームの固定

フラットホースを止めるリPEATバンドを確認します。



リPEATバンド フラットホース リPEATバンド

工場出荷時に設定してありますが、緩んでいる場合や締めすぎている場合は以下のように調整します。

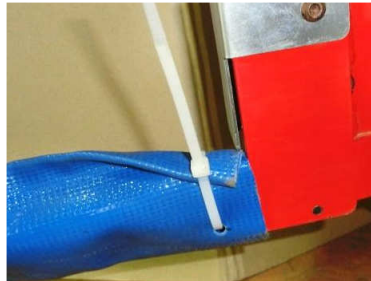
○中央部 4箇所

内部にあるワイヤーを巻いているので写真のように緩めにします。端は130mm位にします。



○端部 2箇所

フラットホースをアームの端に当てた状態できつく締め付けます。



補足 リPEATバンドは緩めることができます。
ヘッドの凸を押してバンドのロックを解除して引き抜きます。



アームを固定します。

アームがフリーの状態(工場出荷時)



L形ボルトを引いて回転させます。



L形ボルトをアーム側の穴(ロック位置)に差し込みます。アームが固定されます。4箇所。



アーム側穴

⑦使用の準備

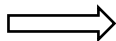
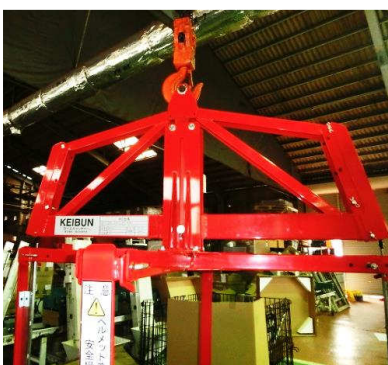
本機を組立台から降ろします。
アームがロック状態なので安定して自立します。



上架台と下架台を固定している
バンドを外します。



クレーンなどで作業場所へ移動
させます。



L形ボルトを下架台側へ差し替えてアームを
フリーにします。
これで使用の準備が整いました。

⚠ 注意 安全のためクレーンなどで吊り下げ
てからロックを外してください。L形ボ
ルト4箇所を確実に外して作業を開始
してください。忘れると装置が破損し
ます。



下架台側穴

6.取扱要領(使用方法)

〈作業者及び作業環境〉

⚠ 警告 注意を守らないと死亡又は重症を負う危険性があります。

●雨、雷、強風などの天候の悪い時は屋外での作業はしないでください。作業性が悪いため人体の損傷や感電死することがあります。

⚠ 注意 注意事項を守らないと怪我を負うおそれがあります。

●作業者は必ずクレーン・玉掛け等の作業免許を持った人が行って下さい。免許所持者以外の方が作業した場合の怪我には責任を負いません。

●運転操作には的確な判断が必要なため、飲酒をした人、過労・睡眠不足の人、病気などで体調不良の人は使用しないで下さい。

●作業する人以外は製品に近づけないで下さい。製品や吊荷にぶつかったり挟まれたりすることがあります。

●万が一の製品及び吊荷の落下に備えて作業者が退避するスペースを必ず確保して下さい。

●この製品は重量物を吊ってクレーン等で垂直に上下させて使用するものです。斜め吊り、横引き、ロール起こし、急激な上げ下げはお止めください。守らないと装置が変形し作動不能になります。

●作業者は作業着等作業に適した服装で行って下さい。だぶついた箇所や裾があると製品への巻き込み・引っ掛けでケガをすることがあります。

●作業者はヘルメットを必ず着用して下さい。

●製品を吊るクレーン等の吊り上げ機は安全で正常に動作するものをご使用下さい。(クレーンフックは3トン用まで対応。)正常な動作ができないと製品や吊荷の落下、製品の破損、作業者のケガにつながります。

〈作業方法〉

《作業準備》

1. クレーンのフックを本機のヒンジピンに引っ掛けます。アームを固定しているL形ボルト4箇所を下架台側へ差し替えてアームをフリーにします。

⚠ 注意 L形ボルト4箇所を確実に差し替えてください。忘れると装置が破損します。



ヒンジピン



アーム

L形ボルト

下架台

2. 本機を吊り下げます。

※上下架台が離れる場合は一度クレーンを下降させ上架台をゴム板に当て、再度上昇させてください。ロックがかかり使用準備が完了します。



上架台

下架台

ワイヤー
チャック円

《吊荷作業》

3. 本機をWCSの真上に持って行き
真っ直ぐに降ろします。



4. 本機の下架台がWCS上面に当たる
(上架台が下架台に当たる)まで下降
させます。



5. 本機を上昇させます。
下架台がWCSに乗ったままワイヤー
チャック円が縮んでWCSを持ち上げ
ます。

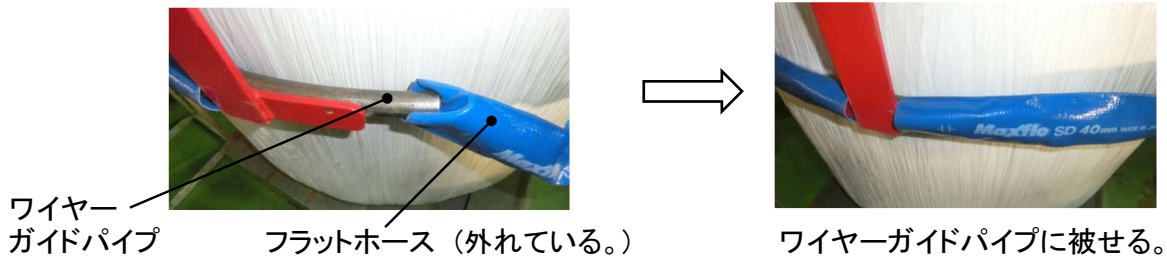


《降ろし荷作業》

6. 目的の場所に移動して下降させます。7. 次に上昇させると本機だけ吊り上げられます。
ワイヤーチャック円が開いてWCSが移動して別のWCSを吊る作業をします。
上架台が下架台に当たったところ
で止めます。



重要 作業中にワイヤーチャック円のフラットホースがアーム下のワイヤーガイドパイプから外れた場合は、手でフラットホースを引っ張りワイヤーガイドパイプに被せて使用してください。ワイヤーガイドパイプでWCSが傷つく恐れがあります。また、破れたりしている場合はワイヤーやワイヤークリップ、SCシャックルでWCSが傷つくので速やかに交換してください。
「9. 部品表」23900ワイヤーアッシーと「7. メンテナンス」【ワイヤーアッシーの交換要領】を参照ください。



《作業終了後》

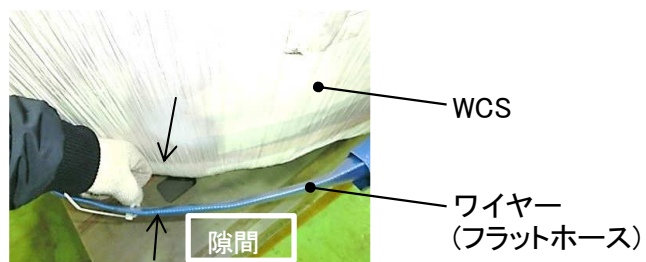
8. 本機を収納可能な水平な場所に降ろしてL形ボルトをロック位置にしてアームを固定します。その後クレーンのフックを外します。



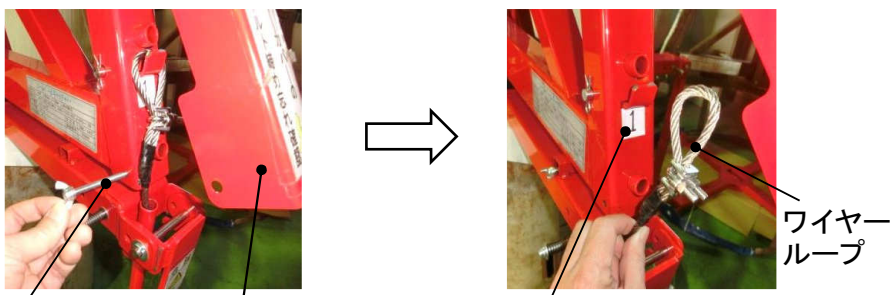
〈ワイヤー長さ調整方法〉

本機は吊荷(WCS)サイズに対応して3段階にワイヤー長さを切り替えることができます。工場出荷時はフック位置[1](標準WCSサイズの場合)にありますが、WCSのサイズが小さい場合はフック位置[2]又は[3]にワイヤー位置を掛け替えて使用します。

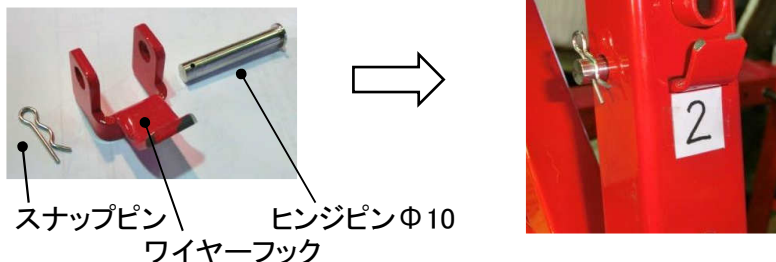
補足 WCSサイズとフック位置の関係は「3. 仕様」を参照ください。WCSをつかまない状態でのWCSとワイヤー(フラットホース)との隙間は、目安で握りこぶしが入る程度が使い易いサイズです。



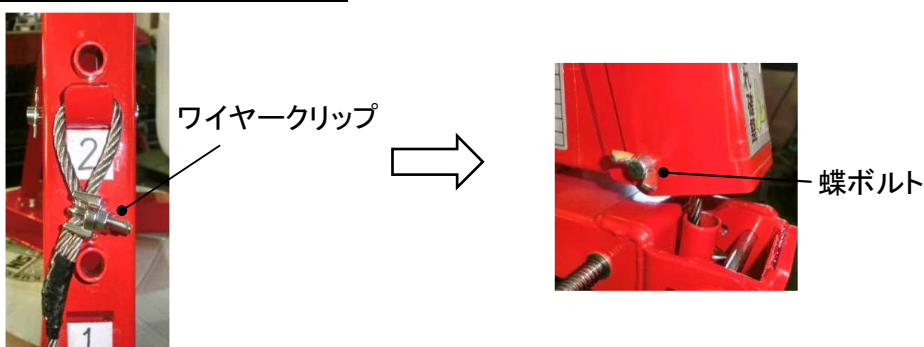
- ① 本機を使用するWCSに乗せます。地上に置く場合はL形ボルトをロック位置にしてアームを固定してください。
- ② 蝶ボルトを外してワイヤー取付カバーを開きます。ワイヤーループをワイヤーフックから外します。



- 蝶ボルト ワイヤー取付カバー ワイヤーフック
- ③ ワイヤーフックを固定しているヒンジピンΦ10をスナップピンを外して抜き取ります。ワイヤーフックを別の位置に差し替えてヒンジピンΦ10とスナップピンで固定します。



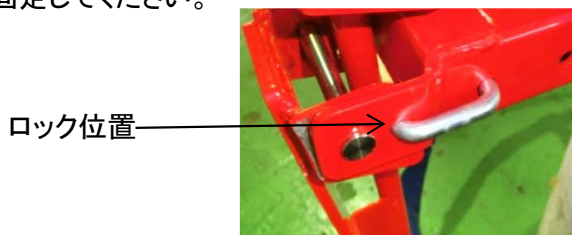
- ④ 写真のようにワイヤーループをワイヤーフックに掛けてワイヤーとワイヤークリップを収めます。ワイヤー取付カバーを閉じて蝶ボルトを締め付けて固定します。
反対側も同じように行います。



⚠ 危険 ワイヤー取付カバーを固定する蝶ボルトは確実に締め付けてください。締め忘れや締めつけが緩い場合に使用中ワイヤー取付カバーが開いてワイヤーが外れ、吊荷の落下で重傷を負うことになります。

〈運搬形態〉

本機をトラック等で運搬する時は自立用L形ボルトをロック側へ差し込んでアームを固定してください。本機も倒れないように固定してください。



⚠ 注意 トラック等の運搬では振動や衝撃が本機に加わることがあります。本機や他の積載物の破損を防ぐために固定してください。

7. メンテナンス

〈作業後の手入れ〉

- ① 本機の手入れを行う時はL形ボルトをロック位置にしてアームを固定してから行ってください。
- ② 作業が終了したら本機に破損箇所がないか確認し、汚れが有る場合は布などで拭き取ってください。さびる恐れがあるので水洗いはやらないでください。わらくずなどが内部に入り込んだ場合はエアフッシングで除去してください。
破損した部品が有る場合は販売店に連絡して部品交換をしてください。
- ③ 可動部(グリス注入箇所一覧のAとB)にスプレーグリスを注入してください。
注油シール貼付箇所(3箇所)。

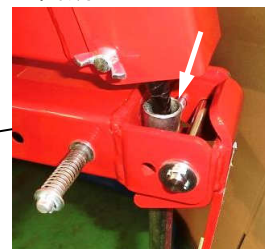
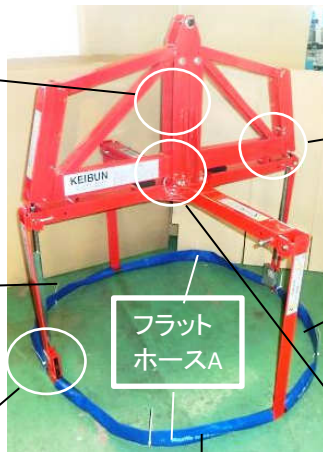


〈グリス注入箇所一覧〉

※使用スプレーグリス … 自転車・オートバイなどのギヤ・チェーンなどに使用する潤滑グリス。

E: 上架台のセンタープレート 2枚とも
側面とガイド板との隙間

C: ワイヤ丸パイプの
内部
2箇所とも



フラット
ホースB

フラットホースB

A: ロック取付アッシーの
中央 ローラーピン2箇所

B: 丸ベルト用プーリ小と大
のロッド
メインアーム2個とも



D: フラットホースの内部 3箇所
2組とも

メインアーム下のフラットホースA端
から注入します。



フラットホースA

サブアーム下の左右のホース端から注入します。

フラットホースA



フラット
ホースB



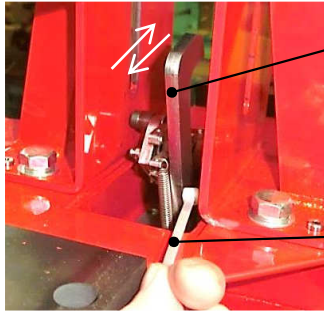
〈定期点検〉

作業を行っている間は1か月に一度は各部の点検を行ってください。
必要な点検箇所は以下のとおりです。

重要 変形や破損があったり動きが正常でない場合は販売店に連絡して部品を請求し
部品交換を行ってください。正常でない場合は機械の損傷や故障の恐れがありま
す。

①ロック取付アッシーのロックカムの動き

本機中央のロック取付アッシー



手動ロック解除バンドを数回引っ張ってロック
カムがスムーズに動いて戻ることを確認してくだ
さい。
動きがスムーズでない場合は**作業後の手
入れ**と同じ要領でスプレーグリスを注入してく
ださい。

手動ロック
解除バンド

②フラットホース



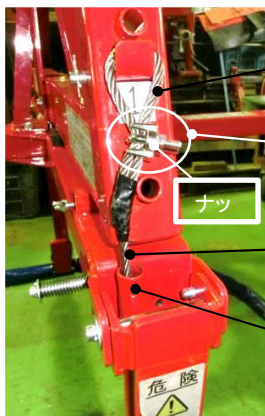
フラットホースB フラットホース大

フラットホースA、B、大に破れや穴があるか
確認してください。ある場合は交換してください。
【ワイヤーアッシーの交換要領】参照。

重要 フラットホースが破損したまま使用
すると、ワイヤーやワイヤークリップで
WCSを傷つける恐れがあります。

③吊り上げワイヤー

●吊り上げワイヤー上部



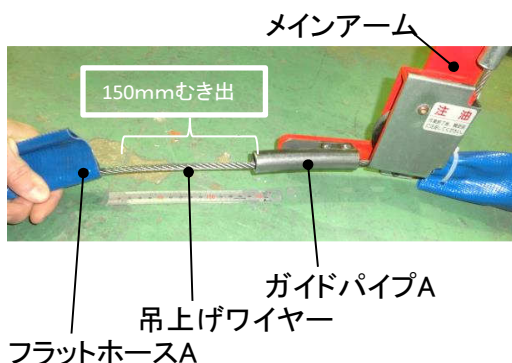
ワイヤー
ループ 左写真の場所のワイヤー表面にささくれなどの
破損がないか、またワイヤークリップのナットが
緩んでいないか確認してください。

ワイヤー
クリップ ワイヤーに破損がある場合は交換します。
ワイヤークリップのナットに緩みがある場合は
締付けます。

吊上げ
ワイヤー

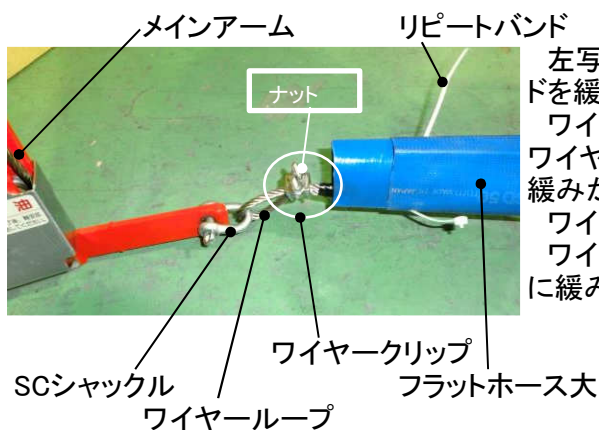
ワイヤー
丸パイプ

● 吊り上げワイヤーのメインアーム出口部



左写真のようにフラットホースAを引っ張ってワイヤーを150mm出します。ワイヤー表面にささくれなどの破損がないか確認します。ワイヤーに破損がある場合は交換します。

● 吊り上げワイヤー下端

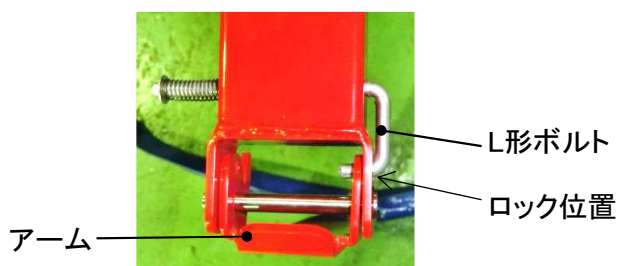


左写真のようにフラットホース大のリピートバンドを緩めてホースを引っ張りワイヤーを出します。ワイヤーループにささくれなどの破損がないか、ワイヤークリップのナット、SCシャックルのピンに緩みがないか確認します。ワイヤーに破損がある場合は交換します。ワイヤークリップのナット、SCシャックルのピンに緩みがある場合は締め付けます。

補足 吊り上げワイヤーの交換は〈交換部品〉の項の【ワイヤーアッシーの交換要領】を参照してください。

〈保 管〉

- ① 長期保管する場合はL形ボルトをロック位置にしてアームを4個とも固定してください。



- ② 〈作業後の手入れ〉に従いメンテナンスを行った後、〈グリス注入箇所一覧〉に示すA～Eの5種類の箇所全てにグリスを注入してください。

- ③ 平で雨などの水で濡れない場所に置いて保管してください。

注意 上に物を載せないでください。変形する可能性があります。

④ 保管中は吊り上げワイヤーが4本のアームに沿って円弧を描く状態にしてください。

○



×



注意

吊り上げワイヤーが折れ曲がった状態だとワイヤーにくせがついてスムーズにワイヤーが流れないことがあります。

〈交換部品〉

部品交換が必要な場合は「9. 部品表」に基づいて販売店へ依頼して部品を取り寄せ交換してください。なお、吊り上げワイヤーの交換は「ワイヤーアッシー」のみの交換となります。「吊り上げワイヤー」単体では供給していないのでご注意ください。

【ワイヤーアッシーの交換要領】

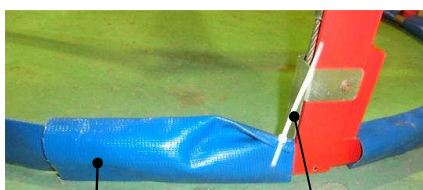
※交換用工具で 4mm六角レンチを使用します。

ワイヤーアッシー



ワイヤーアッシーは2個あります。2個交換する場合は2箇所で行います。
以下の要領で「ワイヤーアッシー」を取り外します。

- ① 本機を平なところに置いて、L形ボルトをロック位置にしてアーム4本を固定します。
- ② フラットホース大のリPEATバンドを外してフラットホース大をずらします。
SCシャックルのピンを抜き取りワイヤーループをSCシャックルから外します。



フラットホース大

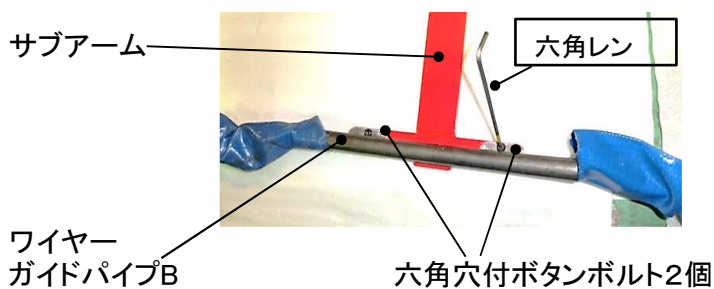
リPEATバンド



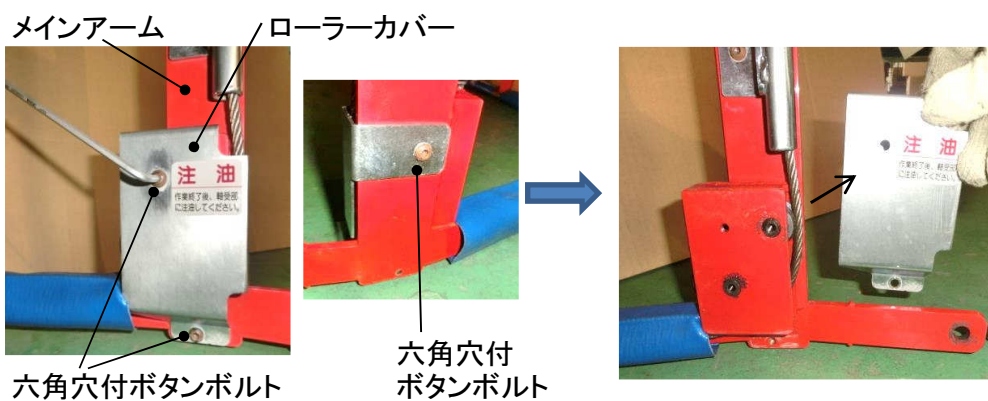
ワイヤーループ

SCシャックル

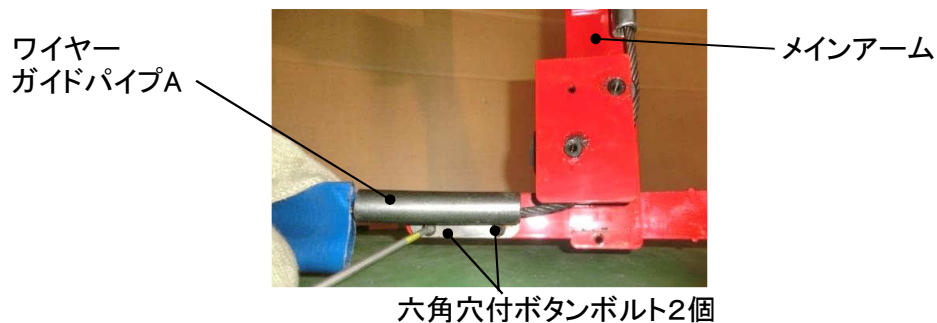
- ③ サブアーム下のワイヤーガイドパイプBを外します。
六角穴付ボタンボルトを六角レンチで外して行います。



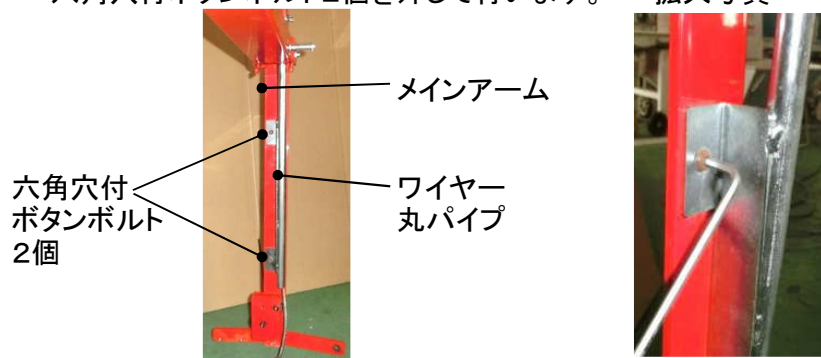
- ④ メインアーム下のローラーカバーを外します。(横へスライドさせます。)
六角穴付ボタンボルト3個を外して行います。



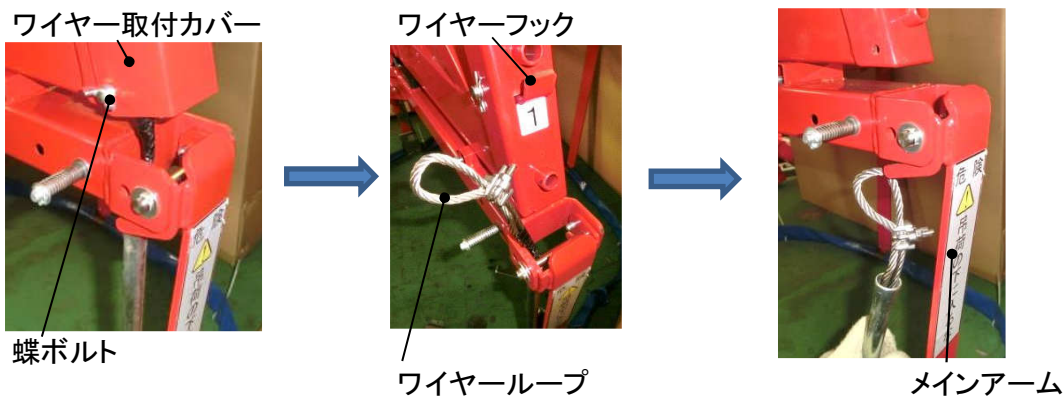
- ⑤ ワイヤーガイドパイプAを外します。



- ⑥ ワイヤー丸パイプをメインアームから外します。
六角穴付ボタンボルト2個を外して行います。 拡大写真



- ⑦ ワイヤーループを外します。
まずワイヤー取付カバーの蝶ボルトを外してカバーを開きます。
次にワイヤーループをワイヤーフックから外します。その後メインアームから抜き取ります。



以上で「ワイヤーアッシー」を取り外すことができました。
取付は上記の逆の手順で行います。

⚠ 危険 取付時は六角穴付ボタンボルトを確実に締め付けてください。また、ワイヤー取付カバーを閉じて蝶ボルトを確実に締め付けてください。締め付け方が緩いと部品の緩みやカバーの開きでワイヤーが外れて吊荷が落下する危険があります。

- フラットホース(A、B、大)の交換について
フラットホースだけを交換する場合は【ワイヤーアッシーの交換要領】に沿って①～③まで行いフラットホースを抜き取って交換します。ただしフラットホース大とフラットホースBの交換の場合は、①～②までで行います。
フラットホース交換後はリピーバンドを確実に取付けてください。「5. 組立要領」参照。

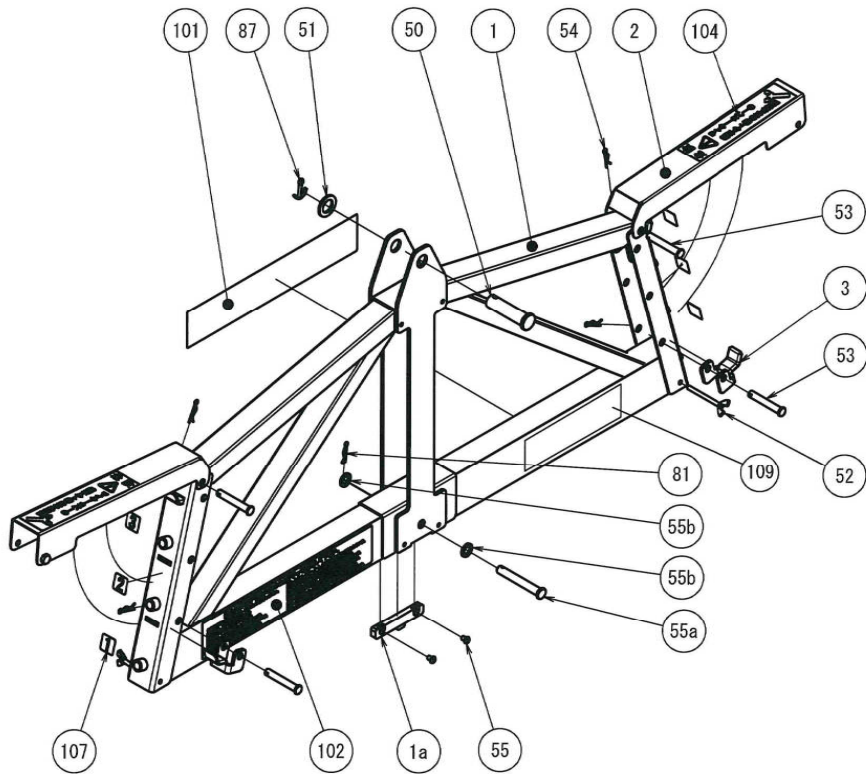
8. 困ったときは

吊荷作業がうまく行われない場合は以下の表の内容を参考にしてください。

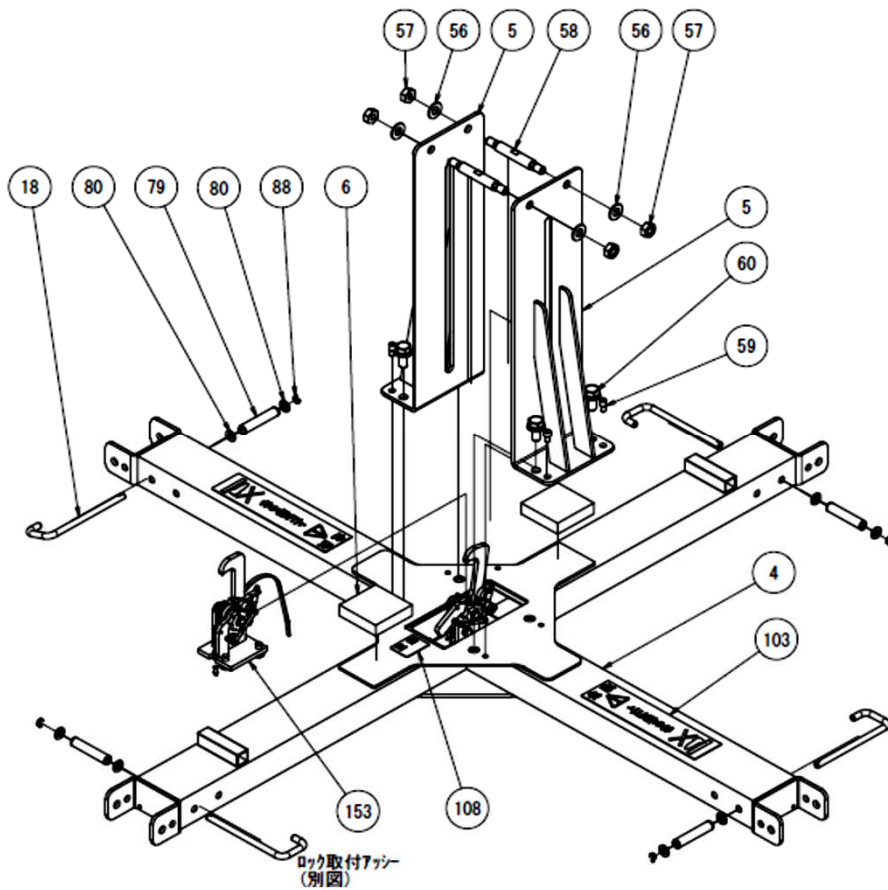
No.	不具合点	考えられる原因	対処方法
1	本機のみを吊って移動中に下架台が外れてワイヤーチャック円が縮まった。	アームがWCSなどにぶつかってロック取付アッシーのロックカムが外れた。	一度地上などの水平な場所に降ろして上架台を下架台に密着させる。ワイヤーがたるんで密着しない場合はワイヤーを手で引っ張ってたるみを取る。その後本機を上昇させる。
2	吊荷作業でWCSが傾いて吊り上げる、又はワイヤーチャック円がWCSの中間よりも上になる。	ワイヤー長さがWCSサイズに合っていない。	〈ワイヤー長さ調整方法〉でWCSのサイズに適したワイヤー長さ位置にワイヤーを掛け替える。
3		左右のワイヤー長さが異なっている。	左右のワイヤーを掛ける位置を同じにする。〈ワイヤー長さ調整方法〉参照。
4		アームが固定されている。	アームを固定しているL形ボルトを下架台側のフリー位置に差し替える。
5	WCSを吊り上げることができない、又はWCSをリリースすることができない。	ゴミ又はグリス切れによるロック取付アッシーの作動不良。	〈グリス注入箇所一覧〉のA:ロック取付アッシーの中央にスプレーグリスを注入する。その後、手動ロック解除バンドを数回引っ張ってロックカムがスムーズに動くことを確認する。
6		ロック取付アッシーの破損。	ロック取付アッシーを交換する。
7	降ろし荷作業でワイヤーがたるんではみ出してWCSがリリースできない。	ゴミなどによりワイヤーとフラットホースの抵抗が大きくなってワイヤーが流れない。	〈グリス注入箇所一覧〉のD:フラットホースの内部にスプレーグリスを注入する。
8		ゴミなどにより丸ベルト用プーリの抵抗が大きくなって回らなくなった。	〈グリス注入箇所一覧〉のB:丸ベルト用プーリ小と大のロッドにスプレーグリスを注入する。
9	吊荷作業でWCSをつかむ時アームがWCSの間に入らない。	WCS間のスキマが狭い、又はアームがWCSにぶつかっている。	ワイヤーチャック円をWCS間のスキマに入れる時はアームではなくワイヤー(フラットホース)の位置で入れる。
10	積雪後の吊荷作業時にWCSが滑ってつかみにくい。	雪又は凍結による滑り又はフラットホースの硬化。	雪・氷を除去した後作業する。
11	フラットホースが破れてワイヤー端のワイヤーリップやSCシャックルがWCSに直接当たる。	フラットホースの寿命。	劣化したフラットホースを交換する。 【ワイヤーアッシーの交換要領】参照。

9.部品表

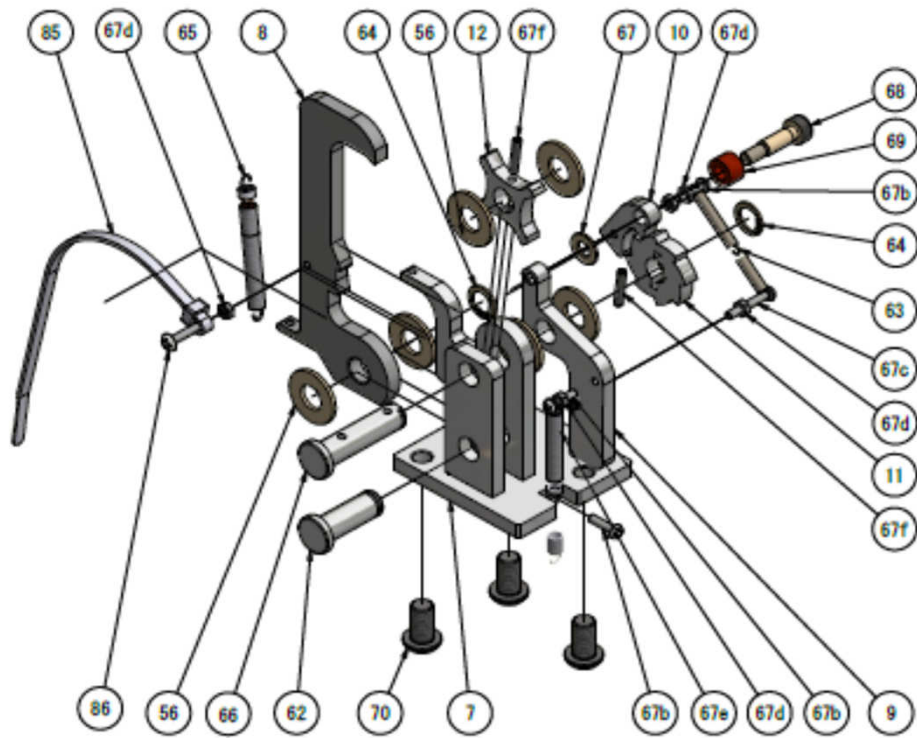
23870 上架台アッシー



23871 下架台アッシー



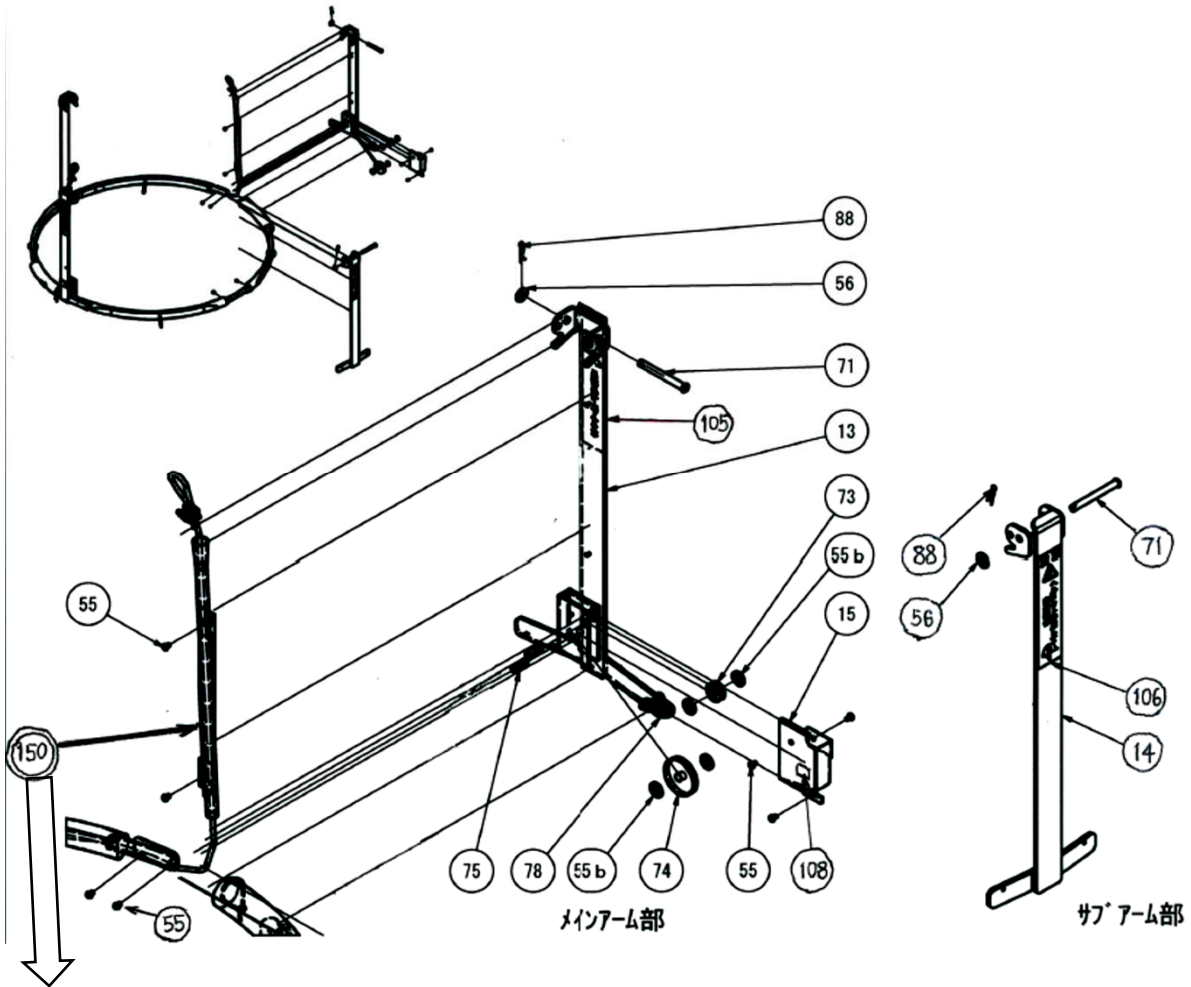
23872 ロック取付アッシー



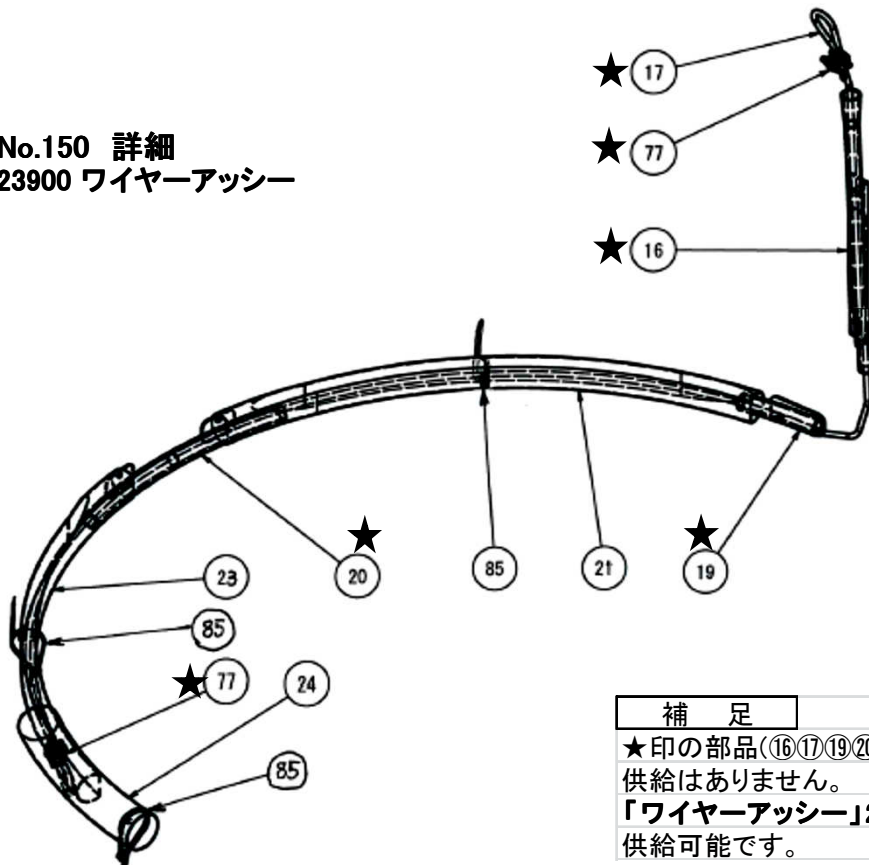
23898 RC取扱説明書



23873 ワイヤー吊アッシー



No.150 詳細
23900 ワイヤーアッシー



補 足	
★印の部品(16) (17) (19) (20) (77)	は単体での供給はありません。
「ワイヤーアッシー」23900のみで	供給可能です。

〈部品表〉

23870 上架台アッシー

23871 下架台アッシー

No.	KBSコード	部品名	個数	No.	KBSコード	部品名	個数
1	23824	上架台	1	4	23827	下架台	1
1a	23834	ロック押え板	1	5	23828	ガイド板	2
2	23825	ワイヤー取付カバー	2	6	23833	ゴム板	2
3	23826	ワイヤーフック	2	18	23846	L形ボルト	4
50	23835	ヒンジピンΦ20	1	56	1371	平座金	4
51	10244	平座金	1	57	1370	ナット	4
52	23800	蝶ボルト	2	58	23838	シャフト	2
53	23836	ヒンジピンΦ10M	4	59	23839	位置決めピン	4
54	1851	スナップピン	4	60	23132	座金組込十字穴付六角ボルト	4
55	23857	六角穴付ボタンボルト	2	79	23821	スプリング(L形ボルト用)	4
55a	23837	ヒンジピンΦ12	1	80	50137	平座金	8
55b	23019	平座金	2	88	20192	割りピン	4
81	3654	スナップピン	1	103	23865	上乗り注意ラベル	2
87	23859	割りピン	1	108	14630	注油シール	1
101	23863	名称仕様ラベル	1	153	23872	ロック取付アッシー	1
102	23864	諸注意ラベル	1				
104	23866	ワイヤーカバー注意ラベル	2				
107	23869	ワイヤーフック位置ラベル	2				
109	24283	斜め吊り注意ラベル	1				

23872 ロック取付アッシー

23873 ワイヤー吊アッシー

No.	KBSコード	部品名	個数	No.	KBSコード	部品名	個数
7	23811	取付台	1	13	23829	メインアーム	2
8	23812	ロックカム	1	14	23830	サブアーム	2
9	23813	バランスプレート	1	15	23831	ローラーカバー	2
10	23814	ラッチロック	1	55	23857	六角穴付ボタンボルト	18
11	23815	ラッチロックギヤ	1	55b	23019	平座金	8
12	23816	回転カム	1	56	1371	平座金	4
56	1371	平座金	6	71	23850	ヒンジピン(Φ10L)	4
62	23840	ローラーピンM	1	73	23851	丸ベルトプーリ(小)	2
63	23818	スプリング(ラッチ用)	1	74	23852	丸ベルトプーリ(大)	2
64	23982	丸S形止め輪	2	75	23853	ロッド	4
65	23819	スプリング(ロックカム用)	1	78	23854	SCシャックル	2
66	23841	ローラーピンL	1	88	20192	割りピン	4
67	1312	平座金	1	105	23867	吊荷下注意ラベル	2
67b	23804	ナベ小ネジ	3	106	23868	ヘルメット注意ラベル	2
67c	23805	ナベ小ネジ	1	108	14630	注油シール	2
67d	14454	ナット	6	150	23900	ワイヤーアッシー	2
67e	23820	スプリング(バラサ一用)	1				
67f	23806	スプリングピン	2				
68	23807	ショルダボルト	1				
69	23842	ウレタンパイプ	1				
70	23858	六角穴付ボタンボルト	3				
85	23860	リピートバンド	1				
86	8000	トラス小ネジ	1				

23900 ワイヤーアッシー(1個の場合)

No.	KBSコード	部品名	個数
★16	23832	ワイヤー丸パイプ	1
★17	23843	吊上ワイヤー	1
★19	23847	ワイヤーガイドパイプA	1
★20	23848	ワイヤーガイドパイプB	1
21	23849	フラットホースA	1
23	23861	フラットホースB	1
24	23862	フラットホース大	1
★77	23844	ワイヤークリップ	2
85	23860	リピートバンド	3

補 足

★印の部品(16)17)19)20) 77)は単体での供給はありません。
「ワイヤーアッシー」23900のみで供給可能です。

製造販売業者 株式会社啓文社製作所

**〒731-0523 広島県安芸高田市吉田町山手739-6
TEL 0826-43-1201(代)**

お客様メモ

購入日	年	月	日
購入店名			